

金 融 概 況

1. 金融情勢

平成25年度の金融・資本市場をみると、日本銀行による量的・質的金融緩和を受け、短期金利については、引き続き低水準で安定的に推移した。無担保コールレート（オーバーナイト物）は、年度を通じて0.1%を下回る水準で概ね横ばい圏内で推移した。長期金利（10年物国債利回り）は、5月下旬にかけて、米国長期金利や本邦株価の上昇などを背景に0.8%台に上昇し、5月末には一時的に0.9%台に上昇した。その後は、日銀が量的・質的金融緩和による国債買入れを進めるも、緩やかに低下し、年度末は0.6%台前半で推移

した。

株価（日経平均）は、5月中旬にかけて、米国株価の上昇や為替の円安方向の動きなどを受けて上昇を続けたが、その後、投資家による利益確定の売りなどを背景に下落した。6月中旬以降は、米国株価や円の対ドル為替相場などにつれて振れ、年度末には14,827円83銭となった（25年3月末は12,397円91銭）。

為替相場は、5月中旬にかけて、米国経済指標の予想比上振れや日本の金融政策の方向性を巡る思惑などから円安の動きとなったが、その後、本邦株価の下落を跳めて円高方向の動きとなった。6月中旬以降は、米国金融政策を巡る思惑や米国経済指標、本邦株価の動向などを材料に振れを伴いながら推移し、年度末の為替相場は1ドル＝102円98銭となった（25年3月末は1ドル＝94円4銭）。

図1 国内主要金利等の推移

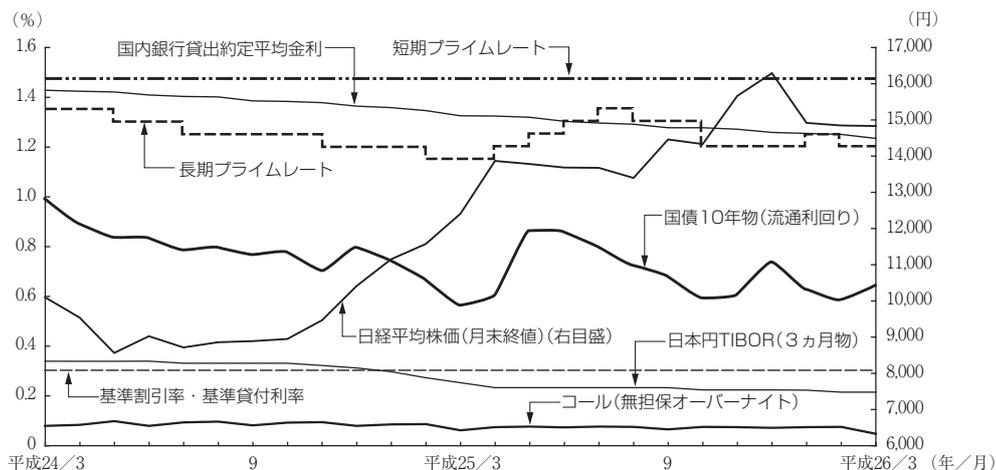


図2 海外主要金利等の推移

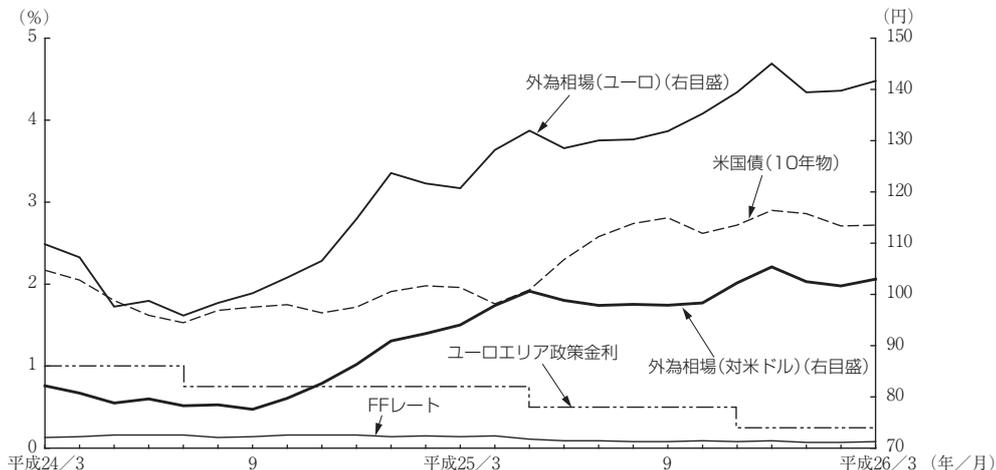
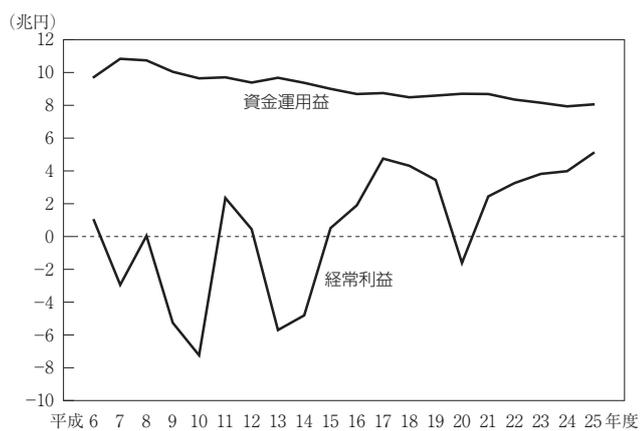


図3 全国銀行の経常利益・資金運用益の推移



2. 銀行の経営統合等の動き

平成25年度中に見られた経営統合等の動きは以下のとおりである。

- ① 平成25年4月1日、ふくおかフィナンシャルグループ傘下の熊本ファミリー銀行が改称して、熊本銀行となった。
 - ② 平成25年4月1日、イオン銀行等を完全子会社とする持株会社のイオンフィナンシャルサービス株式会社が誕生した。
 - ③ 平成25年7月1日、みずほ銀行とみずほコーポレート銀行が合併し、みずほ銀行となった。
 - ④ 平成25年10月1日、三井住友銀行がソシエテジェネラル信託銀行の全株式を取得し、完全子会社としたうえで改称し、SMBC信託銀行が誕生した。
 - ⑤ 平成25年10月1日、紀陽銀行が紀陽ホールディングスと合併し、紀陽銀行となった。
- [担当：大峰]